



検査センター職員を順次紹介していくコーナーです。私たちは「顔の見える検査センター」を目指しています。先生方のご意見・ご感想をぜひお聞かせ下さい。

🍀 143人目



さ さ き きょうすけ  
佐々木 恭輔  
渉外課所属  
勤続1年

🍀 144人目



ふじわら まこと  
藤原 誠  
学術 D.I 課所属  
勤続16年

## The Challenger

南区の営業を担当させていただいて半年になります。体型は少々ぼっちゃりですが、ハンサムと言われます…。(笑) 入所して1年が経ち、少しずつ周りが見えてきて、仕事の大変さを実感しております。そして、少しでも先生方のお役に立てるように頑張りたいと思っています。先生方にはご迷惑をおかけすることも多いとは思いますが、引き続き宜しくお願い致します。

さて、待望の2010FIFA ワールドカップサッカー南アフリカ大会が開幕しました。その中で、私はオランダを応援しています。なぜ日本ではなくオランダ？という方もいらっしゃると思いますが、過去にオランダは「トータルフットボール」と呼ばれる戦術で、サッカー界に革命を起したと称される魅力的なチームです。「流動的なポジショニング」「全員攻撃」「全員守備」！ 私も率先して色々な事にチャレンジしていきたいと思っています。

## いま、ここに、こうして

忘れもしない平成19年9月30日15時、何の前触れもなく私は脳梗塞で倒れました。最初の3か月の記憶は全くありません。今はこうして職場復帰していますが、ここに至るまでにどれだけの方々に助けられたことか…。感謝は尽きません。

現在、営業部門から学術情報部門へ所属が変わりました。左半身麻痺と言語障害が少しあるため、できることよりできないことの方が多いわけですが、それでも何も言わずいろんな面で助けてくれる同僚や上司。なんとお礼を言ったらいいものやら…。

動かない、できないことの方が多い自分ですが、自分だからこそ、ここまで回復できたのだと信じています。今は与えられた目の前のことを確実にこなすことを自分に言い聞かせ、自分なりに頑張っています。

以前、私が営業員として訪問していたお客様に対しては、途中で仕事を放り出したような形となり、大変なご迷惑をおかけしたと思っています。いずれごあいさつに伺いたいとリハビリを続けていますが、回復に限界を感じることもあります。早く治療方法が確立されればと望んでおります。